

Sentinel RMS License Manager ライセンス持ち出し機能ガイド

株式会社エリジオン

最終更新日: 2017 年 6 月 16 日

Sentinel RMS License Manager のバージョンが 9.1.0.0104 の環境において、ライセンスの持ち出し機能を使用した場合にライセンスの残数が異常となる現象が報告されています。ライセンスの持ち出し機能を利用する場合には、2017/6/16 にリリースしたバージョン 9.1.0.1502 以降の Sentinel RMS License Manager を利用してください。

Sentinel RMS License Manager のバージョンについては、WlmAdmin.exe を用いて確認することができます。WlmAdmin.exe の使用方法については、「セットアップ&クイックスタートガイド」の 1.4 にある手順を参照してください。手順②で表示された端末を選択すると、ウィンドウ右上に Sentinel RMS License Manager のバージョンが表示されます。

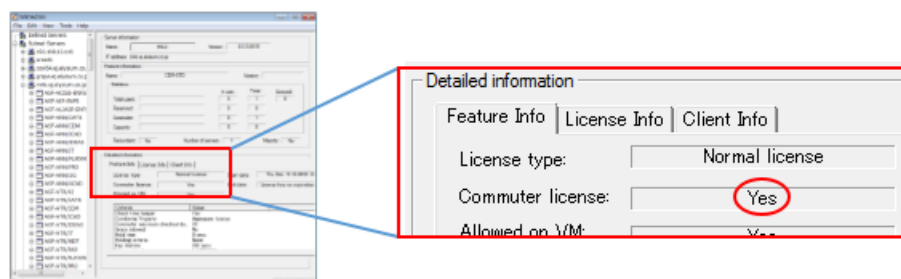
1 ライセンス持ち出し機能(コンピュータライセンス)

Sentinel RMS License Manager に登録されたライセンスをサーバー端末から取得するためには、サーバー端末とクライアント端末はネットワーク接続していなければなりません。ライセンス持ち出し機能を用いると、一時的にライセンスをネットワークの外に持ち出すことが可能になります。



2 前提条件

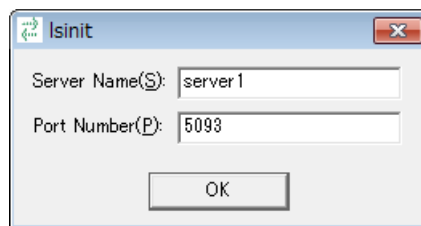
1. 本機能で持ち出せるのは、「Commuter License」の値が Yes のライセンスです。Commuter License の値は、WlmAdmin.exe 上で各ライセンスの Detailed information から確認できます。「Commuter License」の値が No のライセンスは持ち出すことができません。





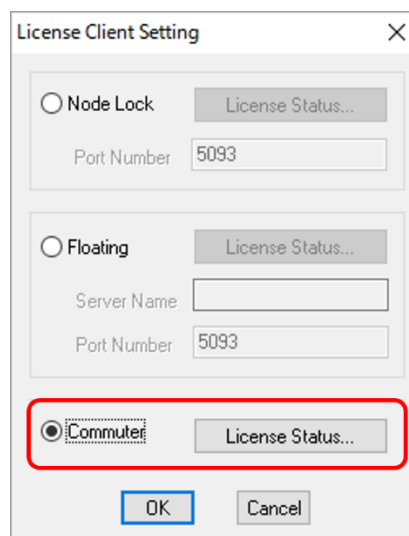
2. ポート番号は初期設定の 5093 番を使用する必要があります。
3. Sentinel RMS License Manager と WCommute.exe などのツールのバージョンはそろえる必要があります。ツールのバージョンは、実行ファイルのプロパティにある「詳細」タブで確認することができます。

3 ライセンスの持ち出しと返却の手順

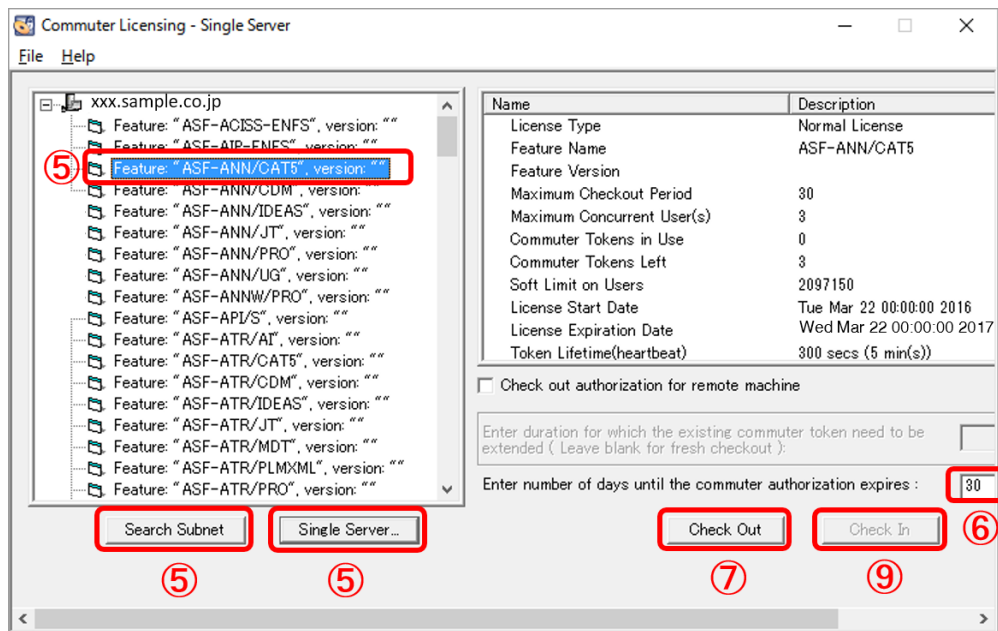
- ① ライセンス持ち出し用のツールをクライアント端末に導入します。別途配布します license_admin2 フォルダを、クライアント端末の任意のフォルダにコピーします。
- ② サーバー端末とクライアント端末がネットワーク接続されていることを確認します。
- ③ ライセンス持ち出し用の環境設定を行います。license_admin2 フォルダの中にある Isinit.exe を実行して、「Server Name」にはライセンスを持ち出す対象のサーバー端末名を入力します。また、「Port Number」は 5093 のままとします。[OK]ボタンをクリックして、“Succeeded to initialize.”というメッセージが表示されれば正常終了です。



- ④ license_admin2 フォルダの中にある WCommute.exe を実行します。実行には管理者権限が必要です。
- ⑤ サーバー端末とクライアント端末を同一のサブネットに接続した場合には、[Search Subnet]ボタンをクリックして、ライセンスサーバーの端末名の下に表示されるライセンス一覧から、持ち出したいライセンスを選択します。サーバー端末とクライアント端末を異なるサブネットに接続した場合には、[Single Server]ボタンをクリックし、ライセンスサーバーのコンピューター名もしくは IP アドレスを入力します。その上で、端末名の下に表示されるライセンス一覧から持ち出したいライセンスを選択します。
- ⑥ ライセンスを持ち出す期間(単位=日)を入力します。指定できる最長の日数は 30 日間です。
- ⑦ [Check Out]ボタンをクリックします。持ち出しが完了し、持ち出されたライセンスのアイコンには、赤いチェックマークが表示されます。( → )
- ⑧ クライアント端末上でコミュータライセンスを指定します。アプリケーション起動時に表示されるライセンス設定ウインドウで“Commuter”を選択して[OK]をクリックします。アプリケーション起動後に切り替える場合には、“ライセンス設定”メニューから設定します。この場合にはアプリケーションの再起動が必要となります。



- ⑨ 持ち出したライセンスを選択して、[Check In]ボタンをクリックすると、ライセンスを返却できます。なお、⑥で指定した日数を過ぎると、持ち出されたライセンスは自動的に返却されます。



4 Q&A

- Q1: ライセンスを持ち出す期間に 30 日以上を指定できますか？
- A1: ライセンス紛失などのリスクを回避するため、ライセンス持ち出しの上限は 30 日とさせていただいております。申し訳ございませんが変更はできません。
- Q2: 持ち出したライセンスが返却できません。
- A2: ライセンスの返却は、持ち出した時と全く同じネットワークに接続して行う必要があります。有線 LAN の場合は持ち出した時と同じ LAN ポート経由で、無線 LAN の場合は同じ接続先経由で返却するようにしてください。
- Q3: ライセンスの持ち出し先が分からなくなった場合、強制的にライセンスを戻すことはできますか？
- A3: 強制的にライセンスを戻す方法はありません。持ち出し期間を過ぎればライセンスが戻りますので、不測の事態に備えて、ライセンスを持ち出す期間は最小限にするようにしてください。
- Q4: WRCcommute.exe 使用時、Windows 8/8.1/10(日本語版)では“Install Remote Authorization Code”タブの“Install”ボタンが途中で途切れてしまい正常に表示されません。
- A4: コマンドライン版の rcommute.exe をご利用ください。